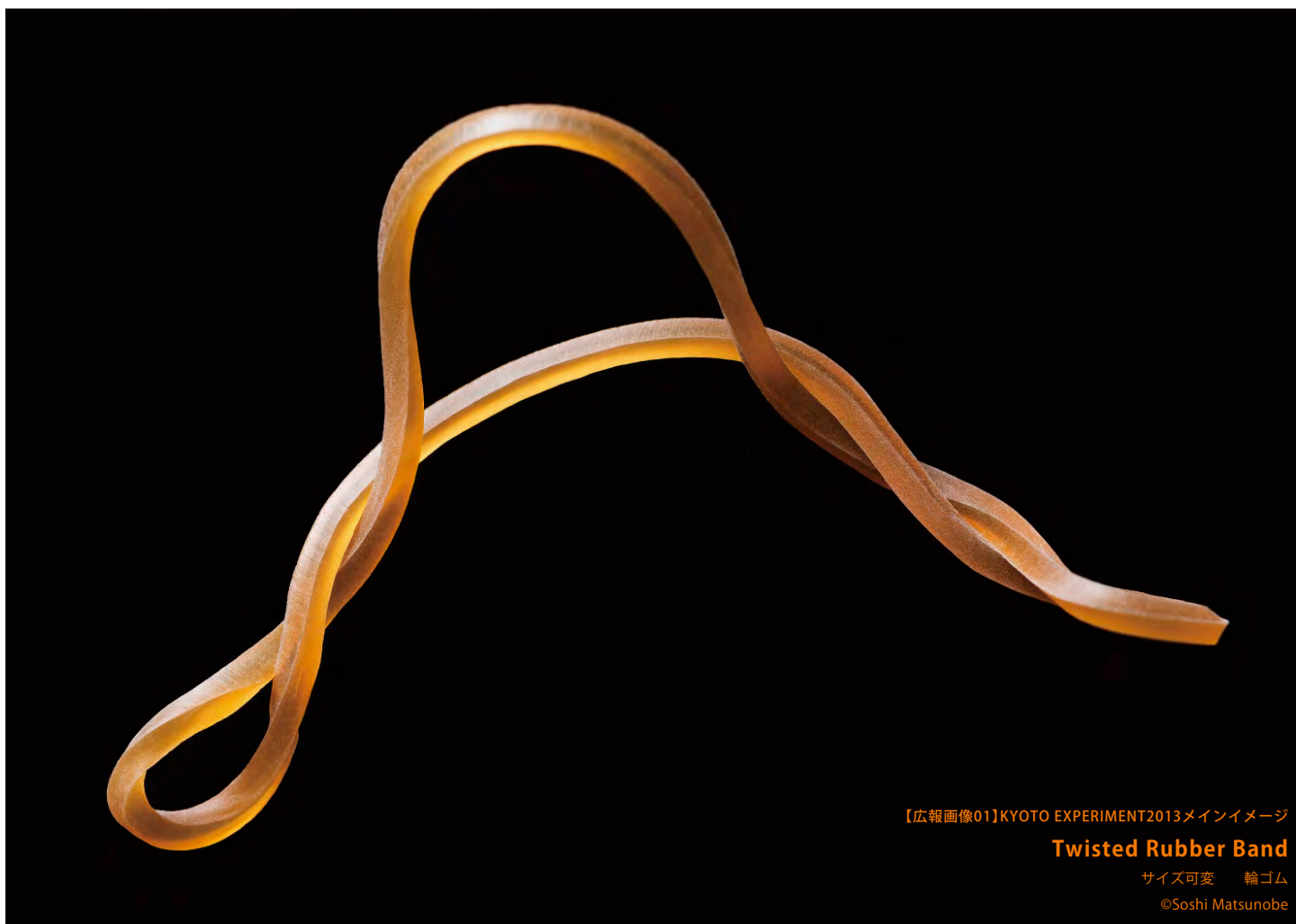


Twisted Rubber Band / Humming

松延総司展 | Soshi Matsunobe Exhibition

2013年09月17日 [火] — 09月29日 [日] 11:00~19:00 会期中無休



【広報画像01】KYOTO EXPERIMENT2013メインイメージ

Twisted Rubber Band

サイズ可変 輪ゴム

©Soshi Matsunobe

ご案内

ギャラリー・パルクでは、9月より開催されるKYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭2013の関連イベントとして、松延総司(まつのべ そうし/熊本・1988~)による個展を開催いたします。

「KYOTO EXPERIMENT」は2010年秋に誕生した、京都初の国際舞台芸術フェスティバルであり、京都国際舞台芸術祭実行委員会(京都市、京都芸術センター、公益財団法人京都市芸術文化協会、京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター、公益財団法人 京都市音楽芸術文化振興財団)の主催により本年で4回目の開催を迎えるものです。PARCでは2010年より過去3回を通じて協力展として関連展覧会を開催しています。

本年は2008年に京都嵯峨芸術大学短期大学部を卒業後、京都を拠点に活動続ける美術作家・松延総司による「Twisted Rubber Band / Humming」を開催いたします。

今年のフェスティバルのメインイメージとなっている、松延の作品《Twisted Rubber Band》は、手のひらでねじり作られ、様々な形をなした輪ゴムです。ひとつひとつの構造体として一瞬の姿を静止させられた輪ゴムは、日用品としての輪ゴムから飛躍し、個性を持った生物の標本のようにも見えます。また、舞台作品は舞台上の身体や物質が動き・ねじれ、一瞬一瞬に通常とは異なる何かが演じられとも云えるもので、この「輪ゴムのパフォーマンス」は舞台芸術祭における観劇体験とも重ね合わせることができるのではないのでしょうか。

本展では、《Twisted Rubber Band》に加え、新作となる音の作品《Humming》により、パフォーマンスの深遠に異なるアプローチによって迫っていきます。

Twisted Rubber Band / Humming

松延総司展 | Soshi Matsunobe Exhibition

2013年09月17日 [火] — 09月29日 [日] 11:00~19:00 会期中無休



本展の周知・広報にご協力頂ける際に、広報用画像をご用意しております。本リリース掲載画像からご希望の画像番号および掲載媒体情報を明記の上、[\[info@galleryparc.com\]](mailto:info@galleryparc.com)迄ご連絡ください。尚、個人の鑑賞および利用を目的とする場合は、画像の貸出しはお断りしておりますのでご了承ください。

展覧会名 KYOTO EXPERIMENT 2013 関連イベント

松延総司展“Twisted Rubber Band / Humming”

出品作家 松延 総司(まつのべ・そうし)

会期 2013年9月17日[火] — 9月29日(日) 11:00~19:00 ※会期中無休

主催 KYOTO EXPERIMENT

協力 Gallery PARC

料金 無料

展示内容 美術作家・松延総司による個展。9月28日より京都市内全域で開催されるKYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭2013に先駆け、そのメインイメージとなっている松延作品《Twisted Rubber Band》を展示するほか、「鼻歌」をモチーフとした音の作品《Humming》をあわせて展示し、ヴィジュアルアーツとパフォーマンスアーツの混在する空間・時間を創出する。また、会期中にはギャラリー内でKYOTO EXPERIMENT2013公式プログラムの関連映像を上映します。

お問い合わせ KYOTO EXPERIMENT 事務局

〒604-8156 京都市中京区室町通蛸薬師下る山伏山町546-2 京都芸術センター内

TEL 075-213-5839 (平日11:00-19:00) FAX 075-213-5849

E-mail info@kyoto-ex.jp URL <http://kyoto-ex.jp>

会場 Gallery PARC[グランマーブル ギャラリー・パルク]

〒604-8082 京都市中京区三条通御幸町弁慶石町48 三条ありもとビル

【Tel&Fax】075-231-0706 【Mail】info@galleryparc.com 【HP】<http://www.galleryparc.com>

アクセス 阪急河原町駅・三条京阪駅より徒歩10分、地下鉄東西線京都市役所前駅より徒歩3分。

三条通・御幸町通の交差点北西角[ル・グランマーブル カフェ クラッセ]店舗内2階

会場に関する Gallery PARC [グランマーブル ギャラリー・パルク] (正木・永尾)

お問い合わせ 〒604-8082 京都市中京区三条通御幸町弁慶石町48 三条ありもとビル

【Tel&Fax】075-231-0706 【Mail】info@galleryparc.com

Twisted Rubber Band / Humming

松延総司展 | Soshi Matsunobe Exhibition

2013年09月17日 [火] — 09月29日 [日] 11:00~19:00 会期中無休

【作家略歴】

松延総司 Soshi matsunobe

1988年 熊本県生まれ

2008年 京都嵯峨芸術大学短期大学部卒業

現在、京都市在住

<個展>

2013 棚 | SHELVES [LABORATORY / 京都、日本]

2012 SCHEMA, Kyoto.Köln [Schilling Architekten x Super Window Project / ケルン、ドイツ]

2010 Nissed [ART OSAKA, 堂島ホテル / 大阪、日本]

2010 Direction of Materials [Super Window Project™ & Gallery / 京都、日本]

2009 Op [立体ギャラリー射手座 / 京都、日本]

2009 Nissed [立体ギャラリー射手座 / 京都、日本]

<グループ展>

2013 Géométrie Variable (DOMAINE LES CRAYERES / ランス、フランス)

2013 ANTI FOTO [Jacobihaus / デュッセルドルフ、ドイツ]

2012 HANARART [田村葉草園 / 奈良、日本]

2012 竹田アートカルチャー [竹田市 / 大分、日本]

2012 VERLANGSAMTE PERFORMANCE, CURATED BY WILHELM SCHÜRMANN [VAN HORN / デュッセルドルフ、ドイツ]

2012 OPEKTA international [BBK / ケルン、ドイツ]

2011 Art-O-Rama [ACDC x Super Window Project / マルセイユ、フランス]

2011 DROP ME! [nitehi works, 若葉町 / 神奈川、日本]

2011 MATSUNOBE / SUZUKI / TANAKA, UNE FENETRE JAPONAISE [GALERIE DE MULTIPLES / パリ、フランス]

2011 神戸ビエンナーレ2011高架下アートプロジェクト [神戸市元町高架通り / 兵庫県、日本]

2011 A CONVERSATION WITH, MATHIEU MERCIER, TAKA AKI IZUMI, YUKI KIMURA, SOSHI MATSUNOBE, KAZU OSHIRO, KOKI TANAKA, ABOUT ABSTRACT OBJECTS [MUZZ PROGRAM SPACE / 京都、日本]

2011 岡本太郎現代芸術賞 [岡本太郎美術館 / 神奈川、日本]

2010 Emerging Asian Artists [Art Guwangju, キムデジュンコンベンションセンター / 光州、韓国]

2008 one room'08 [京都嵯峨芸術大学クラブ棟 / 京都、日本]

2007 桐生再演13 [群馬県桐生市 / 群馬、日本]

2007 ART UNIV.2007 [元立誠小学校 / 京都、日本]

<受賞歴、授与歴>

2011 野村財団

2011 第14回岡本太郎現代芸術賞 入賞

2011 神戸ビエンナーレ2011 高架下アートプロジェクト 特別賞

<コレクション>

SAMMLUNG SCHÜRMANN



Cluster of Schema

2012 サイズ可変 ミクストメディア

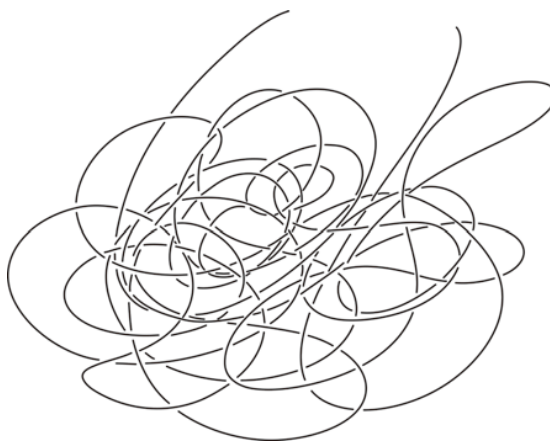
——設計図の建築。設計図とドローイングの中間に位置する図(作品“Knot”)を箱状に組み立てる。隣り合う面の線は繋がっている。平面でありながら立体を想像させる図は箱の内部にまで図が描かれているようなイリュージョンを発生させる。このとき「白い箱」は「白い塊」へと変化する。これは設計図が固まってできたような「設計図の素材」とも考えられる。



私の石

2011 サイズ可変 セメント

——泥団子を作るようにセメントを捏ね、石を作る。この「石」は自然の石のように見えるが、全ての「石」は人の手から簡単に作られたものである。人工物、自然物、作品の境界に位置するこのものは、場所または人との関わりに於いてどのように変化することが可能だろうか。また、その時々でどのような価値を持たせることができるのだろうか。一万個を超える石は全て記録された後、道路、公園、庭、家、ギャラリー、海、川等に置かれている。



Knot

2011 サイズ可変 デジタルデータ

——私が描いた、ぐちゃぐちゃの線。この線は何かのイメージではなくただの線である。線が重なった部分で、線のどちらかを消し、遠近法的に上下の関係を作り、線を結んでいく。ここでは「線を結ぶ」と同時に「線を消す(削る)」作業が行われる。つまり私は立体の線の絵を描くと同時に、線の彫刻を行っている。



Nissed

2007- サイズ可変 ラインテープ

——“Nissed”は“Dessin”の逆の表記である。2次元を3次元のように見せる行為と、3次元を2次元のように見せるこの行為。リアルな描写による絵画がどこか崇高で真面目なものに感じられることに対し、この表現による作品はチープで不真面目で笑いさを感じられてしまう。